



まちのフケツチ



3/24 3つの事業所が連携、安心をカタチに

あいとうふくしモール竣工

地域福祉の新しい形をめざす「あいとうふくしモール」が完成し、竣工の式典が行われました。

「あいとうふくしモール」は、①デイサービスや訪問看護ステーションなどで介護を必要とする人と家族を応援する施設「結の家」、②高齢者や知的障がい者の働く場である、「田園カフェこむぎ」と新工房「木りん」、③地元の農作物を使った料理を提供し、デイサービスなどの食事も支える福祉支援型農家レストラン「ファームキッチン野菜花」の3つの事業所



から成り立っています。この3つの事業所が相互に連携し、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるためのサポートを行



▲ファームキッチン野菜花

います。

式典では、「結の家」を運営するNPO法人結の家代表の太田清蔵さんから、3つの事業所の特色を生かし、それぞれの思いや意見をまとめ、紡いでいくことがあいとうふくしモールのめざす姿であることが紹介されました。

4/13 苦いけどおいしい、野草の天ぷらを試食

猪子山探検隊～春をみつけよう～

能登川博物館が毎年主催する猪子山探検隊～春をみつけよう～が晴天の中行われました。



今年は親子連れを中心に29人が参加。花が咲き、緑の映える猪子山に登り、能登川博物館が作成した野草リストを片手に、天ぷらにして食べるための野草を探しました。7人の地域学芸員に教わりながら、子どもたちはアザミ、鷹の爪、セイヨウタンポポなどを摘んでいき、食べることができ

る11種類の野草を収穫。下山後、能登川ひばり保育園の園庭で地域学芸員らが野草を天ぷらにし、参加者らに振る舞いました。



おかげさまで

100号

これからも東近江市の

今を伝えます

広報ひがしおのみは、東近江市が誕生した平成17年2月11日に創刊号を発刊しました。その後、毎月発行を続け、今月で通巻100号を迎えました。これまで、多くの市民のみなさんにご協力をいただきました。ありがとうございます。

広報ひがしおのみは、これからも魅力あふれる東近江市の今をわかりやすく伝えていきます。引き続きみなさんのご協力をよろしくお願いいたします。